

## 長野電鉄 2100 系「スノーモンキー」の バリアフリー設備のご案内

(2014年3月15日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

「スノーモンキー」は、元・JR東日本「成田エクスプレス」用だった253系電車を長野電鉄が譲り受け、2011年から就役させた2100系に付けられた愛称です。なお長野電鉄の有料特急列車には元・小田急電鉄10000系(HiSE)を譲り受けた1000系「ゆけむり」もありますが、こちらには車いす対応設備は設置されていません。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

2号車の11番D席が、車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

この座席は湯田中向きに固定されており、向きを変えることはできません。

多目的室

「成田エクスプレス」の時代から設置されていません。

トイレ

「成田エクスプレス」時代には2号車に車いす対応構造の物がありましたが、移籍後は閉鎖され「業務用」と表記されています。長野電鉄の車両基地には汚物処理設備が無いためだと思われます。

洗面所

「成田エクスプレス」時代は2号車に車いす対応でない構造の物がありましたが、移籍後は閉鎖されています。長野電鉄の車両基地には給水設備が無いためだと思われます。

公衆電話

「成田エクスプレス」時代には2号車に車いす対応ではない構造の電話室がありましたが、移籍後は公衆電話機は撤去され携帯電話コーナーになっています。

飲料自動販売機

「成田エクスプレス」時代には2号車に車いす対応ではない構造の物が設置されていた時期もありましたが、現在は撤去されています。

受動喫煙の発生状況

長野電鉄では以前から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

いずれも2013年12月7日(土曜日)

1000系(ゆけむり)

長野13時12分発湯田中行き9A列車(全区間を1号車の展望席に乗車)

車両番号・改造履歴などは失念

2100系(スノーモンキー)

湯田中15時56分発長野行き14A列車(全区間を2号車14番D席に乗車)

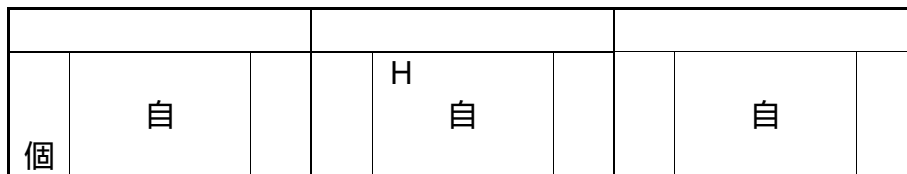
車両番号・2号車=モハ2101(1991年・東急車輛製。2011年に東急車輛および長電テクニカルサービスにて改造)

長野電鉄「スノーモンキー」「ゆけむり」車内設備の配置図

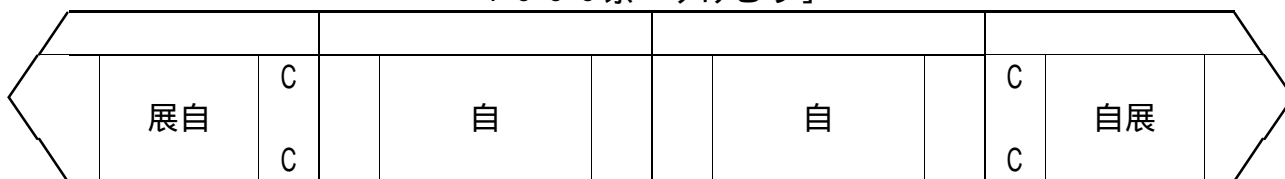
湯田中

長野

2100系「スノーモンキー」



1000系「ゆけむり」



凡例

自 = 普通車自由席

個 = 4人用個室(個室券が必要)

H = 車いす対応座席

展 = 展望席

C = 車掌室

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



長野電鉄2100系「スノーモンキー」



長野電鉄1000系「ゆけむり」



長野電鉄2100系「スノーモンキー」の  
車いす対応座席  
左上に見える非常通報ボタンは  
車いすの人には手が届かない高さ



長野電鉄2100系「スノーモンキー」の  
携帯電話コーナー  
室内右側の壁に見える白い部分が  
公衆電話機取り付け場所の跡



長野電鉄2100系「スノーモンキー」の  
トイレ跡(「業務用」のステッカー貼付あり)



長野電鉄2100系「スノーモンキー」の  
洗面所跡